

大内兵衛
土屋喬雄 編

明治
前期
財政經濟史料集成

第二十卷

興業意見書(下)

農商務省編

原書房

印 検
止 廃

全21巻／第20回配本

明治 財政経済史料集成（第二十巻） 定価 8,500円
前期

昭和五十四年十月十五日 昭和五十四年十月二十五日	印刷 発行	編者 土大 屋内 喬兵 雄衛	発行人 成 瀬 恭	印刷所 （株）平河工業 本社	製本所 水出製本	発行所 株式会社原書房	東京都新宿区新宿一―二五―一三 振替口座 東京五一―二五―二五九四番 電話〇三（354）〇六八五番（代表）
-----------------------------	----------	----------------------------	--------------------	----------------------	-------------	----------------	---

落丁、乱丁本はおとりかいたします。
3333-19440-6945

興業意見 (下卷) 目次

卷二十一 地方七 北陸道

福井縣.....一

石川縣.....八

富山縣.....七

新潟縣.....九

卷二十二 地方八 山陰道

鳥取縣.....六

島根縣.....七

卷二十三 地方九 山陽道

岡山縣.....六

廣島縣.....九

山口縣.....二六

卷二十四 地方十 南海道

和歌山縣.....一四

德島縣.....一五

愛媛縣.....二六

目次

一

高知縣.....一四

卷二十五 地方十一 西海道

福岡縣.....一七

大分縣.....二〇

長崎縣.....二七

佐賀縣.....二八

熊本縣.....二九

鹿兒島縣.....三〇

宮崎縣.....三三

卷二十六 地方十二 北海道

函館縣.....三六

札幌縣.....三七

根室縣.....三九

卷二十七 地方十三

各府縣農商工業損益及金融比較一覽表.....三六

卷二十八 方針一.....三六

目次

農商工部……………六四

卷二十九 方針二……………七三

庶務部……………七三

興業意見 卷二十一

興業意見 卷二十一

地方七

目錄

北陸道

福井縣
石川縣
富山縣
新潟縣

地方七

福井縣

一總段別 二十二萬二千五百九十九町四段三畝八步

內

一田 四萬七千五百九十町五段三畝七步

一畑 九千八百六十四町六段三畝二十四步

一桑畑 二千四百三町八段三畝三步

一茶畑 六十三町五段五畝九步

一郡村宅地 三千九百二町七段二畝步

一市街宅地 四百一町五畝十九步

一山林 十四萬三千六百二十五町五段一畝十一步

一原野 一萬四千六百一十一町八畝十五步

一各種 百三十六町五段十步

一戶數 十一萬七千五十七戶

一人口 五十八萬二千二百三十口士族 二萬六千五百四十四口
平民 五十五萬六千六百四十九口

一物產價額 四百七十五萬二千六十一圓

內

一米 百七十萬六千六百六十三圓

一生絲 十三萬六千五百九十七圓

一繭 十六萬八千八百三十五圓

一各種 二百七十四萬四百六十六圓

福井縣下ニ於テ勸業上要務中最モ急ヲ要スルモノハ、道路、蠶絲、織物、煙草、製茶ナリ。而シテ蠶絲以下ノ四品ハ、何レモ該地方ノ特有物産ニシテ、蠶絲、織物ノ如キハ一日モ忽ニスヘキモノニアラスト雖トモ、亦道路開通ノ急ナルヨリ急ナルハナシ。

○第一 道路

○第二 蠶絲

○第三 織物

○第四 煙草

○第五 製茶

明治十四年ヨリ同十六年迄、重要物産ノ產額價額、及其各品上中下三等ノ區別

○第二 蠶絲ノ部

福井縣下蠶絲產額價額及品位比較表

年次	價額	上	中	下
十四年	七三、三六四斤	五六一、一三五斤	一、九五〇斤	一四、三〇〇斤
十五年	七二、五五五	五五、八五五	二、三〇〇	一四、四〇〇
十六年	六七、〇八八	五一、七三八	一、八五〇	一三、五〇〇

○第三 織物ノ部

福井縣下奉書紬產額價額及品位比較表

年次	價額	上	中	下
十四年	四、〇八〇正	三、五〇〇正	二、三七五正	二、二二五正
十五年	四、八三六	一八、八八六	八七、五八七	七、八七五
十六年	四、〇五〇	二〇、五〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
十五年	二六〇、七〇〇	一五、一七〇〇	六八、〇〇〇	六、一〇〇〇
十六年	三、五、六三三	一八、一三三	八、七五〇	八、七五〇
十六年	一九、八六〇	一〇六、八九五	四、五、〇〇〇	三、九、三七五

○第四 烟草ノ部

福井縣下烟草產額價額及品位比較表

年次	價額	上	中	下
十四年	一、六九、七四一斤	三九、七四一斤	六、〇〇〇斤	八、〇〇〇斤
十五年	一、二、二七三	二五、二七三	四、〇〇〇	四、〇〇〇
十六年	一、八四、三九九	二七、四、三九九	七、〇〇〇	八、五、〇〇〇
十五年	一、四二、四二六	三八、四二六	七、〇〇〇	三、四、〇〇〇
十六年	一、五五、二三八	二七、五、二三八	六、〇〇〇	六、五、〇〇〇
十六年	七、八、〇一八	二二、〇一八	三、〇〇〇〇	二、六、〇〇〇

○第五 製茶ノ部

福井縣下製茶產額價額及品位比較表

年次	價額	上	中	下
十四年	二七、三三七 五、三九九 円	六二、六九七 二〇〇、六三三 円	八四、二五六 一九、三七九 円	二六、三八四 一八、九五七
十五年	四〇、一九七 一一、〇八三	三四、四八五 一六、五五三	一四、六六九 五、一四九	二二〇、四五三 四、〇九一
十六年	五〇、九七六 一一、八二〇	九二、七五〇 三七、一〇〇	一六、七八二 四、一六八	二五〇、一七四 三五、〇二四

重要物産及ヒ事業中最急ニ着手セサルヘカラサルモノ左ノ如シ

福井縣下ノ重要物産中、最急ニ着手セサルヘカラサルモノハ、初項ニ掲ケタル蠶絲以下ノ四品ニ過キス。此ノ數ノ者ハ是迄多少ノ隆替アリシト雖モ、殊ニ頻年物價ノ低落ニヨリ、其影響ヲ蒙ル少ナカラス。然レトモ製産者ハ立志屹焉更ニ屈撓ノ色ナク、今日現ニ本業ヲ維持セリ。就中其従事者中最モ業務ノ整頓ヲ得タル者ハ勝山、小濱等ニ設置アル製絲場、福井ノ織物會社等ノ如キモノニシテ、是等ハ歳々海外ヘノ輸出アリト雖モ、何分該縣ノ地方タル、横濱其他ノ互市場ヘ通スル運輸ノ便太宜シカラス、商業上ニ於テ一大影響ヲ免カレサルヲ以テ、譬ヘハ互市場ヘ近接スルカ、若クハ運輸ニ至便ナル地方ニ於テハ、一萬圓ヲ有スレハ以テ商業上ノ活動ヲナシ得ヘキ的ノ工場モ、本地方ニ於テハ二萬圓ヲ要セサレハ同一ノ活動ヲ爲シ得サルカ加シ。如此ノ關係アルヲ以テ、前述諸會社ノ如キモ今日ノ業務ニ安セシムルニハ、則チ今日ノ資産ニシテ足レリト雖モ、猶ホ

一層ノ進歩ヲ與ヘント欲セハ、則チ資金ノ運用ヲ與ヘサル可ラス。果シテ此ノ運用ヲ與フレハ、恰モ大旱ニ際シテ一雨ヲ與ヘ、稻苗ノ勃然タルト一般ノ關係ヲ得ル、期シテ待ツヘキナリ。猶ホ全體上ニ就テ之ヲ論スレハ、概シテ皆能ク前志ヲ踐ミ、克ク將來ヲ慮リ、百方計畫ニ力ヲ盡スト雖モ、如何セン近來金融ノ壅塞ヨリ事々意ノ如キヲ得ス。爲メニ業務ノ充分ニ振作ヲ得サルノミナラス、之ヲ兩三年前ニ比スレハ、幾分力退却セリ。而カモ亦此際ニ急要ヲ感スル所ノモノハ、運搬ノ至便ヲ得サルノ一事ニアリ。乃チ資金ノ運用ヲ得セシムルト、道路ノ開通ヲ得ルトハ、福井縣下殖産興業上最大ノ急務ナリ。

重要物産中一層ノ進歩ヲ促スカ爲メ、要スル資金及事業ノ情況

- 第一 道路ノ事
- 第二 蠶絲ノ事
- 第三 織物ノ事

福井縣下ニ於テ重要物産ニ従事スル者ニ對シ、猶ホ一層其業務ヲ進歩セシメンカ爲メニ、其全力ニ要スル資金ト、從前充備ノ資金額及其產額等ヲ計算スレハ、即チ別表ノ如シ。蓋初項ニ掲ケタル蠶絲以下ノ四品ハ、何レモ該地方ニ適當シ、且器械其他一切ノ規模能ク完備スルヲ以テ、之ニ應分ノ活動力ヲ與フレハ、必ヤ充分ノ利益ヲ得ル素ヨリ期スヘシ。今ヤ該地方農産工業ノ振作上ニ對スル資金ハ、大率二十三萬八千圓ヲ要スレトモ、目下現立諸會社ノ運用ヲ自由ナラシムルニハ、先以テ左表ニ掲ケタルモノ、如シ。若シ果シテ此資

金ヲ運用スルヲ得セシメハ、其全力ヲ振フニ至ルヤ必然ノ勢ナリトス。唯道路開通ノ事ニ至リテハ、事重大ニ屬スルヲ以テ、素ヨリ輕舉ヲ欲セス。抑該縣下ノ地勢タル、越前ノ西南則チ幾内東山道へ出ルノ官道、江州柳瀨ヨリ越前湯尾驛ニ達スル道程九里ノ間ニハ、椿坂、朽木、湯尾ノ三嶺アリ。此間險坂峻谿亦渺カラス。物産運輸ノ便ヲ此道ニ取ラント欲スルハ實ニ至難ナリ。顧ミテ敦賀ヲ見レハ、灣内水深クシテ能ク汽船帆船ヲ入レ、陸ニハ鐵道ノ便アリテ容易ニ京坂其他ヘノ便利アリ。吾カ運搬ノ便ハ固ヨリ此ニ據ラサル可カラス。然レトモ越前ノ中部以北、則チ福井地方ヨリ敦賀へ達スルノ道路タル、今庄ヲ經テ木ノ芽ノ峻嶺ヲ踰ユルヲ順トス。敦賀鐵道ノ設アリト雖モ、之レカ爲メ未タ至便ヲ得タリト云フ可カラス。該縣下ノ人民之ヲ憂ヒ、曩ニ鐵道布設ノ計畫ヲナセシ事故アリ果サス。今敦賀ヘノ道路ヲ開鑿スルニ付テ假定ノ概算ヲ舉ルニ、福井ヨリ武生ヲ經テ春日野ヘノ七里間ハ舊軌ヲ修シ、春日野ヨリ敦賀へ達スル九里間ハ從來一定ノ道路ナク、鹿蹄兔爪ノ蹈ム所タル一樵徑アルニ過キス。今ヤ新ニ此間ヲ實測シ、嶮ヲ削リ沮ヲ填シ峻ヲ夷ケ棧ヲ架シ、車馬ノ自由ヲ得シメサルヘカラス。尤モ此道ノ幅員ハ地勢ニヨリ一定シ難シト雖モ、貳間ヨリ貳間半ニ至ルヲ準トシ、勾配ハ強クモ壹間ニ三寸ヲ越エサルヲ則トス。而シテ此ノ事業ニ要スル費目ハ先ツ二十萬圓以内ニシテ其功ヲ全フスルヲ得ヘシ。若シ此道ニシテ開通スルヲ得ハ、諸物産ノ改良進歩ハ勿論、其他千百ノ事業非常ノ速力ヲ以テ其業ヲ進ムルニ至ルヤ疑フヘカラス。是則チ福井縣下ニ於テハ、道路ノ開通ヲ以テ第一着ニ居ク所以ナリ。

福井縣下ニ於テ重立チタル蠶絲織物製造場調

製造場		資金產額	資力	金力	從前	前增	加追	募金	產增	額加	合產額
勝山製絲會社	八〇、〇〇〇	五、〇〇〇	四、六八七	三、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	—
織物會社	一三、〇〇〇	三、五〇〇	七、五〇〇	八、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	—
計	九三、〇〇〇	五、五〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—

製絲ノ分

合產額		上生絲	代價	合金
從前產額	上	六、七五〇	—	—
下	七、五〇〇	—	—	—
增加產額	上	四、二八〇	—	—
下	四、六九〇	—	—	—
合計	上	一一、〇三〇	—	—
下	一二、一九〇	—	—	—

絹織物ノ部

合產額		代價	合金
從前產額	三七五	—	—
增加產額	三七五	—	—

福井縣

一 勸業上ノ意向

一 農商工ニ係ル現行法律ノ影響及ヒ將來法律ヲ要スル情況

一 農商工金融ノ實況

一農商工ノ事業盛衰ノ實況

一農家收穫米販賣上ノ利害及ヒ便否ノ實況

勸業上ノ意向

福井縣下農工商ノ事業ハ、十分ノ勸奨保護ヲ爲スニアラサレハ、到底將來ニ向フテ進歩ノ見込ナシ。若シ政府ノ勸誘保護ヲ解キ、人民其ノ爲ス所ニ放任スルカ如クナレハ、何レノ日カ農工商ノ地歩ヲ進メテ事業ノ隆盛ヲ見ルコトヲ得ヘケンヤ。彼ノ製茶ノ如キモ、准則ノ布達ナカラシメハ、從來ノ如ク粗製濫造ヲ防遏スル能ハサルナリ。全ク准則發表ノ効力ニ依リ、改良ノ色ヲ呈シ、海外ノ信用ヲ保タントス。勸業諸般ノ事業皆斯ノ如シ。故ニ曰ク、政府ニ於テ十分ノ勸奨保護アラサレハ、到底將來ニ向フテ進歩ノ見込ナシト。

福井縣下ノ物産、及ヒ事業中現今ノ儘ニ爲シ置キタル以上ハ、今後十ヶ年間ヲ經過スルモ、地方ノ面目ヲ改ムヘキ程ノモノ絶テアラサルナリ。

福井縣下ノ致富ニ付最モ著シキ効ヲ有スヘキ事業、蓋シ一ニシテ足ラスト雖モ、其最ナルモノヲ舉クレハ、先ツ第一ニ米穀、第二生絲、蠶蠶、

米

十七年	十八年	十九年	二十年	二十一年	二十二年	二十三年	二十四年	二十五年	二十六年
540,000石	648,800石	777,700石	766,600石	805,500石	844,400石	883,300石	922,200石	961,100石	1000,000石

織物等ナリ。此各種ノ物産ヲ擴張スルニハ、第一陸運ノ便ヲ開クヲ緊要トス。陸運ノ便今日ノ如クナレハ、到底其擴張ノ計畫ヲ爲ス能ハサルナリ。右米穀ハ若狹越前ノ兩州共ニ適セサルノ處ナク、隨テ小濱、敦賀、阪井ノ三港ヨリ毎年各地方ヘ輸搬スル處ノ米穀、平均五十萬圓ニ下ラス。殊ニ維新以前ニ在リテハ、大坂ニ於テ明里米ノ名アリテ相應ノ佳評ヲ博シタリ。明里ハ福井藩ノ米倉アリシ所ナリ。然ルニ今日ニ及ヒテハ、多ク晚稻ヲ作り僅少ノ增收ヲ心懸ルヨリ、充分ノ乾燥ヲナスヲ得ス。從テ米質ノ粗惡ニ陥リシヨリ、之ヲ從前ニ比スレハ、幾分ノ聲價ヲ損シタリ。故ニ古來各州ノ鄉村ニ設置アリシ所ノ鄉倉ヲ設ケシメ、役員ヲ置キテ米質ハ勿論俵造升目等ヲ檢査シ、農民自家ノ食料ヲ除キ租税ニ供スヘキモノ、及ヒ其他販賣ヲ要スヘキモノハ盡ク鄉廩ニ納付シ、一切役員ノ支配ニ委シ時機ヲ見テ賣却スル等ノ手段ヲナサシムルニアリ。其生絲、蠶蠶、織物ノ振作ヲ欲スルニハ、蠶種ノ粗造ヲ禁シ物品ノ品位ヲ進メ、益々販賣ヲ擴張スルニアリ。故ニ當業者ヘ資金融通ノ道ヲ開クト、其販賣ノ保護スルトヲ希望セリ。

右希望スル所ヲ達スルヲ得ハ、今後十年間ニ於テ致富ノ割合左表ノ如クナルヘシ。

生絲

十七年	十八年	十九年	二十年	二十一年	二十二年	二十三年	二十四年	二十五年	二十六年
七〇、〇〇〇 _斤	七五、五〇〇 _斤	八二、〇〇〇 _斤	八六、六五〇 _斤	九二、二〇〇 _斤	九七、七〇〇 _斤	一〇三、二〇〇 _斤	一〇八、八五〇 _斤	一一四、四〇〇 _斤	一二〇、〇〇〇 _斤

繭

十七年	十八年	十九年	二十年	二十一年	二十二年	二十三年	二十四年	二十五年	二十六年
一、一〇〇、〇〇〇 _斤	一、一三五、〇〇〇 _斤	一、一五〇、六〇〇 _斤	一、四八五、九〇〇 _斤	一、五二一、二〇〇 _斤	一、六六六、五〇〇 _斤	一、七七一、八〇〇 _斤	一、八六七、二〇〇 _斤	一、九六二、六〇〇 _斤	二、〇五八、〇〇〇 _斤

絹麻織物

十七年	十八年	十九年	二十年	二十一年	二十二年	二十三年	二十四年	二十五年	二十六年
一五〇、〇〇〇 _匹	一五二、一一〇 _匹	一七二、一一〇 _匹	一八三、三三〇 _匹	一九四、四四〇 _匹	二〇五、五五〇 _匹	二一六、六六〇 _匹	四、三七、七〇〇 _匹	三三八、八八〇 _匹	二五〇、〇〇〇 _匹

新タニ事ヲ起スノ利ハ、之レヲ在來ノ事ヲ振ハシメテ進歩ヲ爲サシムルノ利ニ比スレハ、頗ル轉蹶多キハ、是迄ノ實驗ニ徴シテ掩フ可カラサル所ナリ。故ニ將來ニ向フテノ方針ハ、新事業ヲ企テシムルヨリハ寧ロ、舊來事業ノ改良振作ヲ欲スルニアリ。

維新以來勸業ニ力ヲ盡セル事福井縣下ニモ多少アリ。幸ニシテ未タ全ク徒勞ニ屬セシモノナク、只舊來荒蕪ニ委シタル所ノ山野ヲ開墾セシモノ、内、當初ニ於テ土壤ノ良否肥料ノ供途等ヲ稽ヘスシテ輕率着手セシヲ以テ、今日殆ント徒勞ノ嘆アラントスルモノ僅ニ一アルノミ。今農工商ノ保護ニ盡スヘキ義務ヲ十分ストレハ、未タ其盡シタル所三分ニ過キサルナリ。又政府ノ保護ヲ待タスシテ、獨立獨行シテ進歩シ得ヘキモノハアラサルナリ。

農商工ニ係ル現行法律ノ影響及ヒ
將來法律ヲ要スル情況

現行ノ法律規則等ノ内農工商ニ關シ、直接若クハ間接ニ於テハ素ヨリ多少ノ影響アリト雖モ、其顯著ナルアルヲ見ス。將來要スル所ハ、法律ヲ以テ勸業委員ヲ設置センコトヲ。目下勸業委員ノ名アルハ、實ニ明治十六年五月太政官第十三號布達ニ基キ、福井縣ニ於テハ當時直ニ之ヲ管下ニ設置セシメ、上下ノ便益ヲ知得スルヲ得タレトモ、抑々勸業委員ノ性質タル、素ヨリ地方ノ便否ニヨリ適宜設置スヘキモノナルヲ以テ、其權力彼ノ成法上ヨリ成立スル所ノ學務、衛生等ノ委員ト駢馳スル能ハス。是ヲ以テ其町村ニ對スルノ効力モ、彼ノ兩委員ニ比シ

テ微弱ナリ。勸業ハ目下最要ノ急務ナルヲ以テ、速ニ法律上ヨリ勸業委員設置アラシコトヲ希望セリ。

農商工金融ノ實況

福井縣下ノ農商工業者、明治十四、十五兩年間ニ於テハ、譬ヘハ管下ニ在リテ壹百萬圓ノ融通自由ニ其運用ヲ得タルモ、十六、十七ノ兩年間ニ於テハ、漸ク五十萬圓ノ融通ヲ得ルニ過キサリナリ。其ノ爰ニ至ルノ理由タル、第一諸物價ノ低落ニ付商賈ノ仕入品ハ頓ニ豫期ノ價格ヲ失シ、隨テ商品ノ購入ヲ中止シ、爲メニ金錢ノ借入ヲ爲サ、ルト、農商家ニ在テハ破産ニ陥ル者比々トシテ、爲メニ債主ノ損失極メテ極カラサルヨリ、債主ハ大ニ之ヲ懸念シ、其結果ヤ終ニ堅固ナル公債證書ヲ購入シテ其ノ低利ニ安シテ、貸出ノ危險ニ近ヨラサルニ至レルトヲ以テナリ。於是乎金融極メテ壅塞シ、之ヲ十四、十五ノ兩年ニ比スレハ、殆ント半額ニ昇ラサルノ寡少ヲ告ケタリ。

農商工ノ事業盛衰ノ實況

福井縣下明治十四十五ノ兩年間ニ於テハ、米價非常ノ騰貴ヨリ農家ハ前代稀有ノ豐裕ヲ得、鼓腹擊壤ノ歡樂ハ漸ク長シテ奢侈ノ風ヲ生シ、商家工人モ隨テ活潑ナル上景氣ヲ呈シ、金錢ノ運轉極メテ頻繁ニシテ、金利壹割半ヨリ貳割ノ高度ニ至ルト雖モ、其融通毫無壅塞ノ色ヲ呈露セス。然ルニ十六十七兩年間ニ至リテハ、米價非常ノ下落ヨリ頓ニ前者ノ反動ヲ來セリ。抑、儉ヨリ奢ニ入ルハ易ク、奢ヨリ儉ニ歸スルハ極メテ難キヲ以テ、農家ノ困弊未タ此ノ時ヨリ甚シキハナク、其影響忽チニシテ商工業者ニ波及シ、終ニ商工ノ業務ヲ營ムヨリハ、寧ロ手ヲ束ネテ時機ヲ窺フノ勝レルニ若カストスルノ有様トナリ、金錢ノ運

轉極メテ惡シク、金利モ隨テ低落スルニ至レリ。

農家收穫米販賣上ノ利害及ヒ

便否ノ實況

福井縣下農家收穫米、銘々適宜ニ販賣スルカ爲メニ生シタル弊害少ラス。其一二ヲ擧クルニ、古來ニ於テハ上租ノ際、其米質ハ勿論俵造升目等ニ至ルマテ檢査嚴重ナルヲ以テ、人々勉メテ米質ヲ精撰シ俵造ヲ鄭重ニシ、乾燥ニ注意シタルヲ以テ、自ラ善良ノ米穀ヲ得タルモ、今ヤ是等ノ規約ナク、貢租ノ金納ニ變セシヨリ、適宜販賣ヲ得ルノ結果ヤ、遂ニ米質ノ精否ヲ撰マス、微少ニテモ多額ヲ收ムルヲ目的トナスヲ以テ、遂ニ今日ニ至リ從來ヨリ見サリシ所ノ晚稻ヲ作り、僅少ノ增收ヲ欲スルカ爲メニ充分ノ乾燥ヲ爲サス、大ニ品位ヲ損セリ。其甚タシキハ粃粟ヲ玄米俵中ニ混シ、以テ世人ヲ瞞着スル等ノ奸ヲ爲スモノアルニ至レリ。殊ニ俵造ノ粗ニ陥リシヨリ來セシ所ノ弊又渺カラサルナリ。加之、農家ニ於テハ他物ノ需用ヲ欲スル時ハ、忽チ適宜賣却ノ自由ヲ得ルヲ以テ、幾分カ奢侈ノ風ヲ來スノ媒介タラサルヲ得ス。畢竟スルニ適宜販賣ヲ得ルハ、農民衰弱ノ原由トナレリ。

銘々適宜販賣ノ爲メニ、商家ニ對スル賣買上ニ於テ頗ル不便ヲ感セリ。其理由ヲ擧クレハ、假令ヘハ農家ニ於テハ、地租上納ノ際ニ至リ爭ヒ競テ販賣ヲナシ、他ノ時機ヲ見計フ能サルノ有様ヲ呈シ、米穀ノ市ニ上ルモノ一時ニ輻輳スルヲ以テ、農民ハ頗ル賣急キノ心ヲ生シ、常ニ價格ヲ低落セリ。殊ニ田租上納ノ第三期ハ十二月十五日限ノ成規ナルヲ以テ、福井縣下ノ如キハ收穫後未タ俵造ニモ至ラスシテ賣却セサルヲ得サルニ至リ、販賣上ニ生スル不便渺カラサルナリ。

石川縣

一總分別 十七萬二千三百七十二町八畝十三步

内

一田 五萬二千八百八十五町五段一畝十二步

一畑 一萬六千五百七十九町二段八畝九步

一桑畑 千町六段五畝十六步

一茶畑 六百七十七町三段三畝二十五步

一郡村宅地 四千七百六町一段一畝十二步

一市街宅地 六百八十七町九段五畝十步

一山林原野 九萬六千八百十三町四段三畝八步

一田畑區別 二百八十七町六段八畝二十八步

一鹽田 二百十四町三段二畝十五步

一溫冷泉 七畝二十一步

一池沼 九十九町二段六畝十五步

一各種 二十町四段三畝二十二步

一戶數 十四萬五千百十七戶

一人口 七十四萬三千六百六十九口内 士族 五萬三千二百六十二口 平民 六十九萬四百七口

一物產價額 六百十二萬四千五百三十四圓

内

一米 二百三十七萬九十五圓

一水産 六十三萬二千六百八十七圓

一織物 二十五萬二千圓

一製茶 十九萬三千三百六十六圓

一麥 十六萬九千七圓

一繭 十五萬七千二百四十七圓

一食鹽 十四萬二千五百二圓

一食絲 十萬千四百一圓

一糸絲 十一萬四千五十圓

一髹器 十萬三千二百八十圓

一陶器 百八十八萬九千五百五十九圓

一各種

石川縣下ノ經濟上目下着手スヘキ事業ヲ論述スレハ、土木ナリ、築港ナリ。其起スヘキモノ種々アリト雖モ、或ハ數十年ノ後ニアラサレハ其ノ利益ヲ見ル能ハサルモノアリ、或ハ一時ニ巨萬ノ金額ヲ要シ、容易ニ其事業ノ行ハレ難キモノアリ。又殖産工藝ノ如キヲ論スルモ、首トシテ鑛業冶金ノ術開ケサルヲ以テ、或ハ其原物ニ富饒ナリトスルモ、其源ヲ發ク未タ多キニ至ラス、隨テ採收ノ法モ亦精シカラス。其他日用必需ノ製品ノ如キハ、製額多カラサルノミナラス、品位整一ナラスシテ、價值モ又平均セス、且徒ラニ外面ヲ虚飾シ、却テ經濟ノ要ヲ缺ク等ノ弊アリ。又農業ノ如キモ、其用具依然トシテ未タ舊様ヲ改メス、其業ノ起ル年既ニ久シキモ、尙ホ舊ハサルハ、顧フニ未タ農學ノ開ケサルニ起因スルモノ、如シ。其他水産ノ如キモ亦改良ヲ見ルモノ稀レナリ。且樹林ノ如キニ至リテハ、土木ノ用薪炭ノ需缺クヘカラサルモノニシテ、其消長ハ水源涵養等ニ關スル極メテ大ナリト雖モ、之カ養成ニ注意スルモノ鮮シ。石川縣ニ於テ、其興スヘキ事業ノ多キ大略斯ノ如シ。今ヤ何レヲ先キトシ、何レヲ後トセン乎、敢テ其先後ナキカ如シト雖モ、最急ノ要務中最モ急ヲ要スルモノハ、蠶業、製茶、陶器、

髹器、銅器、牧畜、織物、食鹽、魚蠟等ナリ。

○第一 蠶業

養蠶製絲ノ業タルヤ、海外輸出ノ上位ヲ占ムルモノニシテ、管下人民ニ於ケルモ、該業ニハ大ニ熱心從事スルノ氣運ニ至レリ。亦其業ノ能ク本縣ニ適スルヲ以テ、益々之ヲ盛大ナラシムル事。

○第二 茶業

該縣製茶ノ產地ハ加賀國能美、江沼ノ二郡及金澤近傍ニアリ。近來漸ク直輸出ヲ爲スニ至ルモ、粗造ノ弊ヲ生シ、内外ニ信用ヲ失スルヲ以テ、該業有志者相謀リ信用ヲ挽回セントス。恰モ此時ニ際シ茶業組合方法ノ準則ヲ設ケラル。是ニ於テ乎一層改良進步ヲ促シ、海外輸出ヲ圖ル事。

○第三 陶器

九谷陶器ハ其名著シキモノナリト雖モ、近來各縣ノ陶器漸次改良ノ點ニ趣キ、稍々九谷ノ名聲地ニ墜ントスルノ勢ヒニ迫レルヲ以テ、一昨年漸ク該業者團結シテ、將サニ其聲價ヲ保タントス。故ニ此氣向ヲ輔ケテ、益々改良進步セシムル事。

○第四 髹器

該縣漆器ヲ産スル最モ古ク其聲價アリシモ、輒近大ニ衰頹ヲ醸セリ。故ニ益々改良シ内外人ノ好嗜ニ副フヘキ事。

○第五 銅器

該縣銅器ハ縣下ノ美術品ニシテ、内外人ノ賞賛ヲ博シ、大ニ聲價ヲ得ルヲ以テ、益々改良精工ヲナスヘキ事。

○第六 牧馬

牧馬ハ能登國ノ特産ニシテ、就中舊金澤藩ニ於テ牧馬蕃殖ニ極勵スル所アリシモ、維新後其制ヲ解キシヨリ、大ニ衰頹ヲ來セリ。故ニ此際地方ノ有志者ニ説キ、改良蕃殖セシムル事。

○第七 織物

織物ハ能登縮、加賀絹等ノ種類ナリ。然レトモ一旦商人ノ手ニ附スレハ、能登縮ハ越後縮ノ名ヲ冠リ、加賀絹ハモミ裏ト變シ、遂ニ產地ノ聲譽ハ顯ハレサルニ至ル。隨テ製産者モ亦進步スルノ氣象ニ乏シキヲ覺ユ。故ニ產地ノ名ニ歸セシメ、一層改良ヲ加ヘテ廣ク消費者ヲ需メ、盛ンニ製出セシムヘキ事。

○第八 食鹽

食鹽ハ能登國ノ特有物産ニシテ、毎年數十萬圓ノ産額アルモ、土地ノ僻陋ナルヨリ他ノ進步ヲ知ラス、改良ニ後レ漸々衰頹ヲ來セリ。依テ之カ改良ヲ謀ル事。

○第九 魚油蠟

該縣魚油ヲ絞搾スルモノアリト雖モ、其蠟分ヲ分析スルヲ知ラス。隨テ油ト爲ルモ、其汚臭ヲ除去スル能ハサルノミナラス、燈火用ニ供スルモ一夜ヲ保タス。故ニ賣路盛ンナラスシテ、製油スルモノ甚タ稀レナリ。終ニ生魚ノ儘肥料ニ充ツルニ至ル。然ルニ輒近始メテ其蠟分ヲ析ツコトヲ知り、目下試験ニ從事セリ。若シ此法ニ因テ以テ好結果ヲ得ハ、益々魚油蠟ノ製造ヲ盛ンシ、一ハ水産ノ増獲ヲ圖リ、一ハ其糟ヲ以テ管内田圃ノ肥料ニ充テシムヘキ事。

明治十一年ヨリ同十六年マテ、重要物産ノ産額、及
ヒ其各品上中下産額價額三等ノ區別

○第一 蠶絲ノ部
生絲

石川縣下生絲産額價額及ヒ品位比較表

年次	總 産 額		上		中		下	
	數量	代價	數量	代價	數量	代價	數量	代價
十一年	四九、七六斤	一七一、四一円	五、八九五	三、六三六円	一二、一六三	四七、四〇円	三、六六八	九、三五円
十二年	三三、四〇一	一五二、六八九	四、四一三	三、八九九	九、二五三	四八、三三	一八、七五五	七、三三八
十三年	三九、八〇六	二二七、二六	四、七五八	四、一八八	一一、三九九	七、六三	二二、六四九	一二、八五
十四年	三八、九四七	二二四、〇〇一	四、九九三	四、一五〇	一三、一九一	八〇、〇八	二〇、七六三	九、六三
十五年	四〇、三四二	一五〇、四三	五、一二五	二七、七六二	一五、一八九	六〇、三四	二〇、〇三八	六、四七
十六年	三七、五九六	一〇一、一四一	四、八二五	一六、八四四	一二、八六八	四六、七八	一九、九〇三	三七、五八

繭

石川縣下繭産額價額及ヒ品位比較表

年次	總 産 額		上		中		下	
	數量	代價	數量	代價	數量	代價	數量	代價
十一年	三七、五八六斤	四二、八八三円	二五、〇二四	五、四七一円	四五、〇九六	九、一三三円	一五七、四六六	二八、三九円
十二年	三四七、四九四	八五、八六〇	三〇、二四二	一〇、一〇七	七二、一九六	一九、九七七	二四六、〇五六	五五、八六
十三年	四九九、五四二	一六三、九七六	四三、九五四	一七、三六	六二、九七四	二〇、一四四	三九三、六二四	一二六、五九六

年次	總產額		上		中		下	
	數量	代價	數量	代價	數量	代價	數量	代價
十四年	五四二、九四四	一八七、〇五二	五、八三三	二五、壹二	一〇一、〇六二	四一、〇八〇	三八九、〇五〇	一〇〇、三四二
十五年	五五二、八四一	二〇五、五六七	五八、三四四	二四、四六二	一一〇、一六四	四〇、七六一	三八四、四三三	一四〇、三四四
十六年	五九二、二四五	一五七、二四七	六五、八三三	二五、〇三七	一四七、七六四	四四、八九六	三七八、六五九	八七、三四

○第二 茶業ノ部

石川縣下製茶產額價額及品位比較表

年次	總產額		上		中		下	
	數量	代價	數量	代價	數量	代價	數量	代價
十一年	五九四、六七九 _斤	一四四、九五 _円	六四、四一 _斤	一、九二 _円	四四、三〇九 _斤	八〇、五四一 _円	一五、九三九 _斤	一三、六七三 _円
十二年	五九八、七五三	一〇七、六九	六六、二四	一八、八〇四	四三、四七〇	七七、一三八	一一、〇六九	一一、三七
十三年	六八四、六五五	一九一、八五七	八〇、三三	三二、〇八八	四九五、四一六	一四八、三四二	一〇九、〇一七	一三、四三七
十四年	六四四、六〇一	二九、四〇四	一四二、二〇六	四五、九六六	三五六、六九九	七七、六三九	一四五、六九六	一五、七九九
十五年	五八五、四五九	二二、八二八	一〇〇、一五	五六、一五七	三三〇、五三三	一三二、九九三	一五四、八二一	三四、六六九
十六年	六九八、八五三	一九三、三六	一二七、〇三七	四三、八一五	三九四、五五六	二六、〇八〇	一八七、二六〇	二、四七一

○第三 陶器ノ部

石川縣下陶器產額價額比較表

年次	產額	代價
十一年	三、二〇〇 _標	九七、八一〇 _円
十二年	三、五〇〇	一〇五、〇〇〇
十三年	五、六〇〇	一六八、〇〇〇

年次	產額	代價
十四年	七、四〇〇	一七八、三九七
十五年	三、二〇〇	八四、〇〇〇
十六年	三、八四〇	七八、五四〇

○第四 髹器ノ部

石川縣下髹器產額價額比較表

年次	產額	價額
十一年	一八、八一〇 箱	三九一、一〇〇 円
十二年	一四、一一五	四一五、五〇〇
十三年	一五、七一三	四五二、〇〇〇
十四年	一二、一一〇	三〇三、五八〇
十五年	一一、〇一〇	二二九、一七〇
十六年	七、七七〇	一一四、〇五〇

○第五 銅器ノ部

石川縣下銅器產額價額比較表

年次	產額	價額
十一年	七三 箱	二二、四〇〇 円
十二年	四三	一三、〇〇〇
十三年	八五	二六、〇〇〇
十四年	一二二	二九、五〇〇
十五年	五六	一三、四五六
十六年	七八	一一、一五〇

○第六 牧馬ノ部

石川縣下牧馬頭數比較表

年次	現
十一年	二萬七千八百頭

年次	數量
十二年	二萬八千七百圓
十三年	三萬七百七十八頭
十四年	二萬二千八百十九頭
十五年	二萬五千七十頭
十六年	二萬三千百頭

○第七 織物ノ部

石川縣下絹麻織物產額價額比較表

年次	總產價額	絹	布	麻	布
十一年	三三、一〇〇 円	四、一〇〇 疋	三三、〇〇〇 円	三、一〇〇 疋	一一、一〇〇 円
十二年	四七、一七五	四、八〇〇	三三、三七五	五、八二一	一九、八〇〇
十三年	六四、六〇〇	八、一〇一	三三、六〇〇	八、二二一	二九、三〇〇
十四年	一八、四九二	二、五二〇	九、四六六	二、七〇〇	九、七四六
十五年	三四、八三三	四、一二〇	一四、五四〇	五、三三七	一八、八二二
十六年	二五、〇〇〇	二、八二〇	八、五〇〇	五、一三〇	一七、〇〇〇

○第八 食鹽ノ部

石川縣下食鹽產額價額比較表

年次	數量	代價
十一年	一四七、七八八 石	一三八、一六九 円
十二年	一三〇、一八四	一七七、一三八